

## ありがとうメッセージ

- ・香川県共同募金会の寄付より、共同スペースにて使用するための冷蔵庫を購入しました。ありがとうございました。
- ・今年度も引き続き、クッキーの委託販売、野菜の仕入れを行っていきたいと思います。美味しくクッキー、野菜をお客さんにお届けできるように、更なるアイデアを検討し販売したいと思います。本年度も宜しく願いいたします！

## ～NPO法人サヤ 賛助会員のお願い～

昨年、5月よりこれまで行ってきた軽作業活動をやめ、新鮮野菜の販売、手作りクッキーの販路拡大等仕事1つ1つに意味を持ち、価値ある仕事にこだわり行ってきました。それにより、たくさんの方々とつながりを感じ、また地域の中の一資源として当事業所も社会の役割を果たしているのではないかと感じています。これもひとえに関係者の皆様のご理解とご支援があったることと深く感謝申し上げます。

私たちを取り巻く法律としては、昨年10月には障害者虐待防止法の施行、今年4月には以前の障害者自立支援法から障害者総合支援法と変わっています。障害者総合支援法においては、障害者の権利を守るための法律ではありますが、当事者及び障害団体の総意と骨格提言の本質が反映されていない内容であり、以前の障害者自立支援法と変わらない状況にあります。この法律に関わり事業所の運営や利用者とかかわっていく私たちとしては、今後の経過にも注目し、また現状についてご理解いただけると幸いです。

たんぼぼは「誰もが自分の人生の主演を演じることができるように」をモットーに活動しています。つきましては、皆様に当法人に賛助会員として入会いただき、ご協力、ご支援をお願いする次第です。どうぞ宜しくお願い致します。

○会費の納入方法・・・郵便振込みにてお願いします

口座番号 01680-5-57087

加入者名 特定非営利活動法人サヤ

○ご入会の特典・・・「たんぼぼ通信」及び研修事業等の情報をお届けします。

## 自主製品紹介

- ・ぼぼ洗剤 大 300円 小 100円
- ・クッキー 大 200円 小 100円
- ・ラングドシャ 100円
- ・手作りストラップ
- ・手作り布絵本
- ・手作り袋
- ・手作りスモッグ
- ・手作りヘアアクセサリ

## 編集後記

今年度の私の目標・・・それは前年度よりもっとたくさんの時間をメンバーの皆さんと一緒に過ごし、本人の想いを共有することです。毎年メンバーとの時間を大切にしながら、メンバーと私の心の距離も良い距離を保ちながら、日々活動に取り組んでいる気がしています。メンバー、スタッフの関係が良くなるからこそ、たんぼぼの将来を一緒に考え、それに向かって進んでいけるのだと思います。メンバー、スタッフとのかかわり、精神保健福祉士としての原点に振り返り、今年度もたんぼぼの情報を読者の皆様に提供していきたいと思っています！

# Life

第44号 2013. 4. 12発行  
特定非営利活動法人SA、A  
就労継続支援B型事業所 たんぼぼ  
〒763-0066  
丸亀市天満町1-2-31  
TEL: 0877-22-2840  
HP <http://nposaja>

## 新年度の取り組み

NPO法人サヤ たんぼぼ  
所長 村井 誓子

新年度にあたり、NPO法人サヤ「たんぼぼ」の取り組みについてご紹介します。

まず、予めから法人内で議論されているキッズショップPOPO（ポポ）の活動については、創意工夫しながらその活性化を図りたいと考えています。そのためには、店舗運営や販売ルートの開拓等の部分を学生ボランティアに担ってもらったり、広報を目的として季節ごとに開催される一般のフリーマーケットに参加したり、隔週土曜日にイベントを催す等の検討を行っています。また、他事業所との見学交流では、今年度は広島市内で活動するNPO法人「ウイングかべ」を訪問してみたいと考えています。「ウイングかべ」は、重要文化財である古民家を改修し、カフェをオープンしている事業所です。昨年12月に開催された「あみ」の研修会にてお話を伺ったことが契機となって見学研修の計画を立てています。そして、当法人が主催する地域生活支援関係職員研修会は、今年度は9月におこなう予定です。

次に、定例の活動についてですが、毎月第4月曜日の16:00～17:00で行っている関係者会で「たんぼぼ」の見学会を開催するという話がまがっていますので、関係者の皆さんに対して定例の関係者会の時間帯を活用して「たんぼぼ」の見学説明会(仮称)を実施したいと思います。また、クラブハウスは月1回(第3土曜日)の頻度でメンバーによって実施されていますが、土曜日は店舗運営と重なることから、今年度は平日の15:00～19:00に変更します。その他、新しくスタッフ(精神保健福祉士)が1名増員となり、スタッフの自己研鑽がより高められるよう新しい研修システムを導入します。これらの活動については、今後少しずつ機関紙等でご紹介してまいります。

これからも変わらず、NPO法人サヤに利用者の就労支援と価値ある労働の機会を提供をすることに加え、地域福祉実践の向かうべき方向の提示、即ち福祉社会の創成を目指して活動を展開します。スタッフ共通のポリシーである地域との繋がりをきちんともつこと、「たんぼぼ」が仲間づくり・居場所・人との繋がりがもてる場所であること、メンバー同士のリカバリー活動を重視すること、という3点について、現実を見据えたうえで方向性を見失わないよう理念に近づく努力をしてまいりたいと考えます。メンバーの利用目的は人それぞれ異なりますので、まだまだ今後検討しなければならないことも沢山あります。皆様の日頃のご支援に感謝しつつ、今後とも変わらぬご協力、ご高配のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



# 2012年度 地域生活支援関係職員 研修会報告！

精神保健福祉士 國宗 美鈴

3月28日(木)、NPO法人SAJA主催の地域生活支援関係職員研修会が、亀市保健福祉センターにて開催されました。テーマを「公私協働～地域におけるネットワークづくりのノウハウ～」として、利用者を「ひとりの人」としてとらえ、誰もが共同社会の一員として他者の関係を形成し、相互に支え合うための公的、私的なつながりを求め、公私協働のネットワークによる地域支援が必要とされています。そこで今回は、ひとりの人を支援していくにあたって、関係機関がどのような連携をとりながら支援を展開していくのかを、島根県出雲市にある社会福祉法人地域生活支援センターふあっと所長の矢田朱美氏にご講演いただきました。

公私協働という言葉を出雲市では、官民協働といっており、行政・医療・保健・福祉が連携して顔の見える関係を大切に、ネットワークの構築に努めているとのことでした。この官民協働を活かしたものが自立支援協議会で、①推進会議②専門部会③ネットワーク会議④運営会議⑤サービス調整会議の5つの組織で構成されています。その会議の中では、退院後「保証人がいない」などの理由でアパートなどの民間賃貸住宅に入居しにくい障害者を単身生活がしやすくなるよう支援する制度を独自に作り上げたとのことでした。また、ふあっとでは、個別ケースについて毎月事例検討を行っており、事例検討を通して丁寧にかかわることで、その地域に生じる問題や課題は表面化されるとともに、支援者自身の対人スキルを向上させることができるとのことでした。1つ1つの事例から、その事例に応じた支援チームとして連携をとつながり、新しいシステムができると教えていただきました。さらに、地域によって利用者が使えるサービスは異なりますが、地域の特性をうまく活かすことを目的に地域とつながり、ひとりの人をより良い環境の中で支援するために地域住民や他機関・多職種と連携することが、ネットワークです。公私協働のノウハウの1つとして、私たち専門職が1つ1つの事例に丁寧にかかわり、つながりを意識し合うことで地域の特性を活かした公私協働ができるのだと考えます。

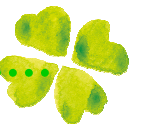
最後になりましたが、PSWとしての基本姿勢である、傾聴することや共感、受容することを基盤に、個々に寄り添った支援を行うことが重要であると感じました。そのかわりの中から、疑問を自分自身に問いかけ、自己覚知することで新たな自分に気づくきっかけとなり、この作業が利用者支援に必要な過程であると思います。支援を行う中で大切になってくることは、当事者・家族の介入、専門職の介入、市民の介入であり、どの要素が欠けても良い支援になりません。そのためには、日々の業務から他機関との関わりを持つことを大切に、各機関の役割や地域性を活かした連携を心がけたいと感じました。



## 3/3(日) ふれあい城春まつり



毎年春先取りの、この時期に開催される「ふれあい城春まつり」に参加しました！このおまつりは丸亀市城坤コミュニティが主催しているおまつりで、事前に行方委員が何度か集まり企画しています。たんぼぼも実行委員として参加し、今年で3回目となります。城坤地域の住民間の交流や地域活性化を目的に行われており、たんぼぼも城坤コミュニティの一員として役割を担えとても嬉しく思います。この日は、野菜・クッキー・手作り雑貨・輪投げ・駄菓子の販売を行いました！左横写真はちょっと緊張気味なワンショットです☆



## 3/15(金) 職員研修！「ヒヤリハット」

たんぼぼでは、施設内研修にてその時の状況に合わせた様々なテーマで職員研修を行っています。今回は、たんぼぼ内でのヒヤリハットについてスタッフ間で気づいたことを話し合い、その内容についての対応策等の検討を行っています。非難訓練を行った際に気づいたこと、また何気ない日常の活動中に潜んでいること等様々な意見がありました。話し合うことで、お互い知らない、違った意見を聴くことができたことや、思っている以上にたくさんのヒヤリハットが存在していることがわかりました。今回話し合っただけのヒヤリハット1つ1つに対応していくことが今私たちにできることであり、そうすることでより良い支援を行う環境整備につながるのだと考えます。

## NEW スタッフのこぼりやき

精神保健福祉士 三宅 春菜

今年の3月に四国学院大学を卒業し、3月20日からたんぼぼの常勤スタッフとして就職しました三宅春菜です。日々、販売や店舗経営、また、クッキーや小物などの自主製品の製造など、それぞれに役割を持ち活躍されているメンバーの皆さんから教わりながら、お手伝いや後押しが出来るよう、一生懸命頑張りたいと思います。

今は、知らないことや初めての経験が多くあり、1日1日について行くことに精一杯になっていますが、事業所を通してメンバーの皆さんの働くことを支援していけるようになりたいと考えています。そのためには、これまで学んできた本人主体の支援を心掛け、まずは話を聴き、メンバーの皆さんとの関係を築いていきたいです。その上で、様々な行動をすぐ移せるようなフットワークの軽さを身に付けたいと思います。そして私自身も、メンバーの皆さんと共に様々な経験を積み、豊かな発想が持てるような支援者になりたいです。

私自身、社会の中で働くことが1年目ということもあり、たくさんの不安や勉強不足を感じる点がありますが、だからこそ共感できる思いもあると考えています。今後、たくさんの方との出会いを大切に、たんぼぼでの日々を努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。